

オープンサイエンス振興による公立大学の地方創生への 貢献と高度研究データ活用人材の育成

日時：2025年3月5日（水）13時30分～17時00分

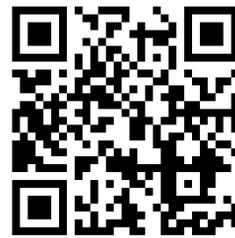
場所：山陽小野田市民活動センター 会議室1B

（山陽小野田市中心二丁目3番1号 Aスクエア）

参加者：一般公開（対面とオンラインのハイブリッド）

申込方法：フォーム（https://select-type.com/ev/?ev=cRDJjbS_KDE）

または右記QRコードからお申込みください。



[プログラム]

主催者挨拶

山陽小野田市立山口東京理科大学 学長 武田健

来賓挨拶

文部科学省研究振興局参事官（情報担当）付 学術基盤整備室長 土井大輔氏

山陽小野田市市長 藤田剛二氏

モートンベイ市長 ピーター・フラナリー氏

山口東京理科大学におけるオープンアクセス加速化事業報告

「研究情報管理システムの構築と研究成果の可視化・発信、産学官連携」

山陽小野田市立山口東京理科大学 学長補佐・特任教授 塩満典子

基調講演

「オープンサイエンスがイノベーションに与える多面的な影響：

オープンアクセス、研究データ共有、シチズンサイエンス」

文部科学省科学技術・学術政策研究所 データ解析政策研究室長 林和弘氏

「オープンサイエンス:クィーンズランド工科大学における研究成果の創出と協力関係の促進」

クィーンズランド工科大学 図書館学術コミュニケーションサービス

マネジャー ステファニー・ブラッドベリー氏

「企業における研究論文・データ分析とオープン・クローズ・イノベーション戦略」

三菱ケミカル株式会社 フロンティア&オープンイノベーション本部

グローバルリサーチパートナーシップ部 部長 清水史彦氏

参加者との意見交流&パネル・ディスカッション

「オープンサイエンス振興による公立大学の地方創生への貢献と高度研究データ活用人材の育成」

パネリスト:

サンシャイン・コースト大学 保健学部 病態生理学教授・研究担当副学部長

ロバート・ハーベイ氏、基調講演者

外部有識者評価委員会委員長による講評

国立大学法人山口大学理事、元総合科学技術・イノベーション会議議員 原山優子氏

閉会挨拶

山陽小野田市立山口東京理科大学 理事長 池北雅彦

土井大輔氏

文部科学省研究振興局
参事官（情報担当）付
学術基盤整備室長



土井氏は、日本のオープンアクセス基本方針のもと、大学等におけるオープンアクセス活動の推進に取り組むとともに、国立情報学研究所（NII）による日本の中核的な研究データプラットフォーム「NII RDC」の運営・開発の支援を行っている。

ピーター・フラナリー氏

モートンベイ市市長



フラナリー氏は、従来の中央ビジネス地区（CBD）モデルから戦略的に転換し、「ポリセントリック・シティ（多中心都市）」として知られる、ビジネスエリアと居住エリアの相互をつなぐネットワークの形成により、モートンベイ市を重要な地域として確立することを主導してきた。市の人口増と急成長の中で、市全域をつなぐネットワークとインフラの整備を推進するとともに、「成長しながら環境を守る」という使命のもと、75%の土地を緑地として保全し、開発との適切なバランスの確保も目指している。

ステファニー・ブラッドベリー氏

クィーンズランド工科大学図書館
学術コミュニケーションサービス
マネジャー



ブラッドベリー氏は、研究の透明性と研究プロセスのあらゆる側面、特に研究成果のアクセスを向上させることを目的としたオープンサイエンスに情熱を傾けている。また、イノベーションとシームレスなサービス提供を実現するための部門横断的なコラボレーションの提唱者でもある。

ロバート・ハーベイ氏

サンシャイン・コースト大学
保健学部病態生理学教授・研究
担当副学部長



ハーベイ氏は、ユニバーシティ・カレッジ・ロンドンとサンシャイン・コースト大学で、学者や博士課程の学生にオープンアクセス出版のトレーニングを行ってきた。また、透明なピアレビューシステムを運営するオープンアクセス・ジャーナル『Frontiers in Molecular Neuroscience』の分野チーフエディターを務めている。彼のミッションは、科学の出版物やデータをオープンアクセス化し、協働やイノベーションの促進を図ることである。人々の生活、コミュニティ、そして環境改善のための解決策を提供できることを目指している。

藤田剛二氏

山陽小野田市市長



藤田氏は、山陽小野田市において、官民連携によるデジタル化を積極的に推進し、地域課題の解決や市民生活の質の向上、業務の効率化に取り組んでいる。また、市が設置している山口東京理科大学と連携してのデータ分析、活用等によるスマートシティを推進している。

林 和弘氏

文部科学省科学技術・学術
政策研究所（NISTEP）
データ解析政策研究室長



林氏は、オープンサイエンスの専門家として、G7科学技術大臣会合、OECD、UNESCOのプロジェクト等において、世界における新たな学術知を生み出す基盤のトップダウンのコンセンサスづくりに貢献した。また、日本のオープンサイエンス政策形成の支援も行っている。

清水史彦氏

三菱ケミカル株式会社 フ
ロンティア & オープンイ
ノベーション本部/グロー
バルリサーチパートナー
シップ部部长



清水氏は、オレフィン重合触媒の研究開発分野で先駆的役割を果たしてきている。また、最先端の研究データベースと分析ツールを効果的に活用し、世界の研究活動を包括的に分析することにより、最適な協力パートナーの特定を行っている。

原山優子氏

国立大学法人山口大学理事、
元総合科学技術・イノベー
ション会議議員



原山氏は東北大学の名誉教授であり、GPAI（AIに関するグローバル・パートナーシップ）東京エキスパート支援センター事務総長、東レ株式会社取締役を務めている。また、理化学研究所理事、内閣府総合科学技術・イノベーション会議常勤議員、OECD科学技術産業局の副局長等の指導的役職を歴任した。2011年にはフランス政府よりレジオン・ドヌール勲章シュヴァリエを受章し、国際学術会議フェローに選出されている。